令和7年度　「志教育」全体計画

様式1

宮城県名取北高等学校

校　訓

「人間愛」・「創造」・「貢献」

本校の教育目標

1　人間を愛し、知性を養い、情操を陶冶して豊かな人格を備えた逞しい人間を育てる。
2　創造の精神を尊び、積極的に自己啓発に努める人間を育てる。
3　新しい時代・社会における自己の役割を認識し、郷土及び社会に貢献する人間を育てる。

生徒の実態、教師の願い

穏やかで健やかな高校生活を過ごしている。素直で心優しい生徒が多いが、高い志を持って自分の道を切り開こうとする意欲と実践力をもってほしい。

保護者や地域の願い

〇意欲的に自分の人生を切り開いていってほしい。
〇公衆道徳やルールを守るだけではなく、積極的に地域貢献をしてほしい。

「志教育」の目標

来るSosiety5.0の時代を生き抜くため、自分を愛し、他人を敬いながら、新たな知性を身に付けた、社会に貢献できる人材を育てる。

重点指導事項

人と「かかわる」	よりよい生き方を「もとめる」	社会での役割を「はたす」
〇学校行事・学年行事などに積極的に関わらせることで、人間関係形成力及び社会性を培う。 〇総合的な探究の時間での校外活動及びLHRでの各種講演会などの行事を通して自己理解・他者理解を深めさせる。	〇教育活動全体を通し学校で学ぶ知識と社会や地域との関連を実感させる。 〇総合的な探究における外部団体との活動やボランティア活動、部活動及び進路活動を通して、将来の自分と社会との関わりについて学び、社会や地域、将来の進路について考えさせる。	〇ボランティア活動や各種学校行事を通して、集団、組織及び社会の中で自分の果たすべき役割について考えさせる。 〇ホームルーム活動、部活動及びボランティアに積極的に取り組ませ、生徒の達成感・自己有用感を高めさせる。

各教育活動における取組の観点

各教科	各教科の指導内容と社会や地域、関連分野を意識させる指導を行うとともに、学問としての現代的な課題を学ばせることで、学ぶことの意義をつかませ、学習意欲の向上を図る。
道徳	自己を探求し、生涯にわたって主体的に自己実現を目指していく意欲を高める。公共の精神を尊び、郷土及び地域社会の発展に寄与していく態度を養う。
総合的な探究の時間	互いを尊重し支え合いながら、自ら取り組むべき課題を見出して周囲と協力し解決に向けて行動できる生徒、自らの「高い志」を持ち主体的に追求し実現していくことができる生徒を育成する。具体には傾聴力・発信力・創造力・想像力・分析力・自己肯定力・探究力・行動力を育成する。
特別活動	学校行事などを通して生徒会活動・ホームルーム活動を活発化させるとともに地域貢献に取り組み、人間関係形成力を高め、集団の中で自分の果たすべき役割を考えさせる。
その他	名取市の「なとりこどもファンド事業」、「大震災を語り継ぐ北高生の集い」等のボランティア活動を通して、地域社会との連携を深め、自分の役割を積極的に果たすことで公共心を育て、将来の主権者としての自覚と防災に対する意識を高める。

各学年の取組内容

1年	①キャリアセミナー 社会人講師との対話から学ぶ ②進路ガイダンス・進路説明会・進路講演会 ③模試分析会 ④先輩講話 ⑤新入生オリエンテーション ⑥総合的な探究の時間における探究活動
2年	①修学旅行 グループ研修の企画・立案・実施を通して、自主性・計画性を身に付ける ②進路ガイダンス・進路説明会・進路講演会 ③模試分析会 ④オープンキャンパス参加 ⑤先輩講話 ⑥総合的な探究の時間における探究活動
3年	①総合型選抜・学校推薦型選抜入試対策 志望理由書・エントリーシート指導、面接指導、小論文指導などを実施 ②進路別ガイダンス・進路説明会・進路講演会 ③模試分析会 ④総合的な探究の時間における探究活動

家庭との連携

PTA活動や学校評価、授業公開、広報誌「名北の風」などを通じて情報交換を図り、本校での取組を家庭にも連絡し、生徒に家庭からも助言や励ましが得られるようにすることで、連携を深める。

地域･企業との協働

名取市・大学・企業・NPO団体などと連携して多様な教育活動を展開し、生徒に様々な角度から社会と自身の将来の有り様について考えさせたり、他者を思いやりながら、自分の能力を高めさせたりするような場を提供する。